

第7号 (2000. 7. 15発行) 国絵図研究会 〒310-8512 水戸市文京区2丁目1番1号

茨城大学教育学部小野寺淳研究室内

## 国絵図ニュース

TEL&FAX 029-228-8294 (ダイヤルイン)

### 国絵図研究会第12回例会

## 西宮市立郷土資料館の絵図展と摂津国絵図の熟覧

暑中お見舞い申し上げます。

さて、第12回国絵図研究会例会(幹事: 礒永和貴)を、西宮市立郷土資料館(担当合田茂伸氏)において同館のご協力で開催します。郷土資料館の『西宮古地図大観展』とシンポジウムに相乗りです。参加希望者は、同封のばかきで8月15日必着でお申し込み下さい。

### ● 日程

9月3日(日) 研究会 13:30~16:30

場所: 西宮市立郷土資料館 2階集会室

西宮市川添15-26 TEL 0798-33-1298

テーマ: 『慶長十年摂津国絵図をめぐって』

話題提供: 川村博忠(東亜大学)

: 礒永和貴(宇治市歴史資料館)

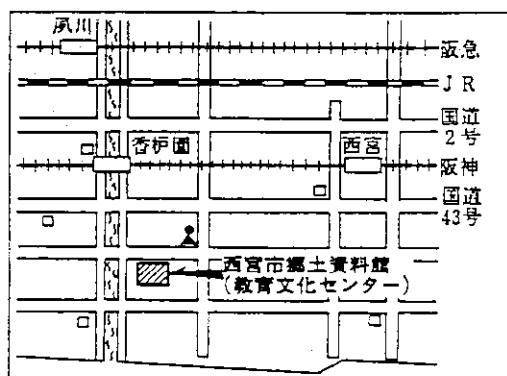
コーディネータ: 三好唯義(神戸市立博物館)

※郷土資料館主催の市民参加のシンポジウムです。

17:00~懇親会(5,000円)

◎宿泊は、各自でおさがし下さい。

西宮市にはありません。神戸・大阪市でお探してください。



9月4日(月) 絵図展と国絵図の熟覧: 西宮郷土資料館 10:00~15:30

熟覧絵図一覧: 慶長十年摂津国絵図(兵庫県指定文化財)、摂津国絵図(作成年不詳)、御公儀様御代替りに付尼崎工差出絵図の控(天保国絵図の村差出図力?)、北今津絵図、西宮町浜絵図、摂津国武庫郡鳴尾村砂浜新開場絵図、絵図描き方雛形、摂州有馬郡生瀬村馬借村絵図、西宮町細見図、広西両宮絵図など

12:00~13:30分 昼食時に国絵図関係図書刊行計画と国絵図所在調査の会議を開催

問い合わせ: 礒永和貴(宇治市歴史資料館) 宇治市折居台20-1 TEL 0774-20-1311

### 国絵図関係図書の刊行計画と国絵図所在調査について

第11回例会の会議で、国絵図関係図書の刊行計画と国絵図の所在調査の計画が提案されました。第12回例会/西宮郷土資料館の熟覧会/9月4日の12:00~13:30分の昼食時に会議を持します。刊行計画にご意見がありましたら同封はがきにてお知らせ下さい。多くのご意見をお待ちしております。また、国絵図所在調査については、3ページを熟読の上、調査票をご返送下さい。会員の皆様の積極的なご協力を賜りたく存じます。収集しました調査票は、国絵図所在一覧として会員の皆様に配布します。なにとぞ宜しくお願いします。

### 2000年度の会費の徴収

本年度の会費2000円を徴収します。同封の振込用紙でお支払下さい。

※西宮例会参加者は、会場でも受け取ります。礒永和貴まで。

## 研究余滴 慶長国絵図の献上に関する疑問

磯永和貴

本年四月に川村博忠先生編の『慶長国絵図集成』が発刊された。筆者も摂津と小豆島の慶長図を担当させていただき、完成に漕ぎ着けたことに細やかな喜びを感じている。しかし、この集成をみると、改めて慶長図の現存範囲が西日本を中心することが気になる。また、近年知り得た史料から考えられるいくつかの疑問が頭の中に浮かんでくる。とにかく、思いついたままに述べてみたい。

『寛政重修諸家譜』の津田秀政の項には、「西尾を岐守吉次とともに国々の地図、租税の員数をあらたむへきむね仰をかうふり、秀政は関西三十三国をうけたまはる」とある。慶長九年に編纂の始まる慶長図は、総奉行を西国を津田、東国を西尾とし、国奉行や主な大名に献上させたと解釈される。しかし、土佐山内家には、両者が書状を発給している。また、西尾は慶長十一年に没しておりその後の担当者は不明である。東国の図が現存しないのは、西尾の死に関係するのであろうか。また、徳川政権草創期にあり、実際には豊臣系大名の集中する西国のみを対象に慶長図の献上が行なわれたともみなされる。

『佐治重賢氏所蔵小堀政一関係文書』、一二「大久保長安書状（以下、長安書状）」に「(前略) 将亦備中国絵図目録被成御上候哉、当年中不上ものにハ切腹可被 仰付旨 御説にて候、貴殿御手前之御帳誰人に御渡候哉、又御手前に御座候者、夜通もたせ可被成御越候、貴殿・我等手前帳ハ能候と、てほん(手本)にまであるかせ被成候と覚申候、恐惶謹言(慶長14年) 霜月(十一月) 廿一日 大(大久保) 石見守長安(花押) 小堀遠江守(政一) 様人々御中」とある(括弧は筆者注)。

また、『早稲大学所蔵荻野研究室収集文書』五〇四号の「慶長一五年三月一日付小堀政一宛片桐且元書状(以下、且元書状)」に「備中国之画図目録御上候二付」とする。また、この且元は、国奉行として摂津、和泉、小豆島図を担当した。

長安書状は、小堀政一が慶長13年12月以降に遠州に任官し、且元書状で同15年3月までに国絵図が提出しているので、14年12月21日の作成と考えられる。両書状の備中国絵図は、慶長国絵図のことで、政一は備中国の国奉行として編纂に携わったのである。

書状では慶長図や郷帳の献上期限が慶長一四年で、献上しなければ切腹を命じられると脅かし、提出したのであれば誰に届けたのかと訝しがる。そして、まだ手元にあるならば、急ぎ持参するよう催促する。また、小堀や大久保の郷帳は良い手本となるとしている。

まず、この書状から慶長14年が慶長図の提出期限であったことが判明する。摂津、和泉は「慶長十年九月」、小豆島は「慶長十年十月十五日」の年記があるが、提出年ではなく作成の開始を示すのかもしれない。また、国奉行の管轄した国でも編纂が遅れていたことを示す例として興味深い。大名領では、もっと遅れたであろう。

ついで、慶長図を誰に提出したのかと訝しがるのは、家康ではなく秀忠に献上したと疑ったのではなかろうか。長安は、家康の側近であった。この書状は、別の文書から駿府より発せられたと考えられ、長安が未だ家康のもとに備中国が献上されていないことを驚いて、小堀に書状を発したと考えられまいか。これまで筆者は、慶長国絵図の編纂は慶長9年の将軍家康の最後の命令で、翌一〇年四月の将軍譲位にともない秀忠へと献上されたと考えていた。それは、将軍権力の委譲を世に知らしめ、中央政権として地位が続くことを誇示したとみなしたからである。しかし、上記のように慶長図の提出先が将軍秀忠ではなく家康であったとすれば、当該期の政治体制を再考する材料の一つとなるであろう。

さらに、郷帳が「手本」となるのはどのように考えられるのか。早く出すのが手本か、それとも内容が手本となるのであろうか。いずれにしても、未だ献上されていない図や帳があること長安の手元に郷帳があることは確かである。地方行政に強い権限と能力を持つ長安の手元に郷帳があるのは、西尾の没後に彼の職務を引き継いだ可能性が考えられる。

一方、且元書状に慶長図の提出が見られるのは、同じ国奉行で緊密な連絡をとっていたことを示すのであろう。国奉行の作成した図が共通の様式を示す可能性が考えられる。

以上のように慶長図の献上は、未だ多くの謎に包まれている。『慶長国絵図集成』によって図そのものの研究とともに関連史料の発掘も進むことを期待したい。

## 国絵図所在調情報リストの作成要領

近年、国絵図の調査や研究が著しく進展し、多くの図が発見されています。しかしながら、かつて東京大学史料編纂所の全国的な所在リストが発表されて以降にまとめられたものはありません。国絵図研究の緊急的課題として、国絵図の所在リストを作成することが認められます。所在リストは、一覧にして会員各位に送付致します。悉皆調査ですので、一般に広く知られていると思われるものでも記入してください。1点でも多くの情報をお待ち申します。

1 国絵図は手書きものとします。また、国絵図に関係する日本図や広域図（九州図）、郡図、藩領図、郷帳、道帳、城絵図などさまざまな図の情報をお寄せ下さい。

2 所蔵先での名称とは、所蔵機関の目録とします。目録がない場合は、図や史料の原題を記入して下さい。目録がなく原題も判らない場合は、例のように記入して下さい。

例：目録なし・原題不明（肥後国）、目録なし・原題不明（正保肥後国絵図）

3 新たに名称を与える場合や内容を反映する名称を付す場合は、名称のあとに（）で記入して下さい。また、郡 絵図・藩領絵図の場合は、国・郡・藩名を（）記入して下さい。

例：山城国図（正保山城国絵図の下図カ）、肥後国絵図（肥後国・人吉藩領絵図）

4 寸法は、縦×横もしくは東西×南北の文字を入れて長さを記入して下さい。縦×横か東西×南北がわからない場合は、文字の記入は不要です。計測数値がわからなかったり計測ができない場合は、不明に丸をつけて下さい。わざわざ計測する必要はありません。

例：縦164.5×横189.7、東西344×南北457、

5 種類は、丸をつけて下さい。その他には、編纂年号などを記入して下さい。

例：寛永一〇年、享保期

6 所蔵先は、略称ではなく正式なものをお願いします。寄託、寄贈などの別や文庫名などもわかる範囲で記入して下さい。

例：熊本大学附属図書館寄託永青文庫

7 個人蔵のものは、都道府県市町村名などを付して下さい。個人名は、個人蔵もしくは〇家蔵として下さい。寄託されていれば、その機関も記入して下さい。

例：京都府城陽市礪永家蔵（宇治市歴史資料館寄託）

8 備考は、出典、関係文書、写真版にこだわらず、あらゆる情報を簡潔に記して下さい。

例：破損が大きく閲覧不可、村高はないが随所に慶長の様式がみられる

◎リストは、足らなければコピーして下さい。

◎情報の提出は、2000年12月31日とします。期限にこだわらず判った情報だけでも、お送り下さい。早ければ早いほど大歓迎です。

◎送付・問い合わせ先 小野寺淳

〒310-8512 水戸市文京区2丁目1番1号 茨城大学教育学部

TEL&FAX 029-228-8294（ダイヤルイン）

# 本の紹介

徳島市立徳島城博物館編

## 『徳島城下絵図 図録』

A4横 62ページ 定価1,000円

本書は、蜂須賀藩の城下町であった徳島城下町の主な絵図を集大成したものである。本書の構成は、図版編としてⅠ城下絵図16点、Ⅱ城郭絵図(城絵図)5点、Ⅲ真景図5点、Ⅳ徳島城下町変遷5点からなり、解説編として総説、個別絵図解説、徳島城下絵図一覧、徳島城下町関連文献目録、収録絵図目録となっている。

本書によって主な徳島城下絵図が図版としてみられることもうれしいが、Ⅳ徳島城下町変遷では絵図の地割を復原し、徳島城下絵図一覧では城下町年表に現存する絵図との関係を示すなど工夫が凝らされ大変参考となる。また、参考文献や解説も充実しており、徳島城下絵図そのものの活用研究にとっての基礎的文献になっている。是非とも一読されたい。  
(情報提供：平井松午／徳島大学教授)

問い合わせ先：徳島市立徳島城博物館に直接お申し込み下さい。

〒770-0851 徳島市徳島町城内1番地の8 TEL088-656-2525

## 研究会のおしらせ

### 地図史フォーラム in 神戸

## 第2回研究会

藤田裕嗣先生(神戸大学・文)より研究会の案内が参りました。国絵図研究会の次ぎの日です。ぜひご参加下さい。

日時：2000年9月5日(火)14時～17時

会場：神戸市立博物館地階研修室2

神戸市中央区京町24 TEL078-391-0035

発表者

14:00～

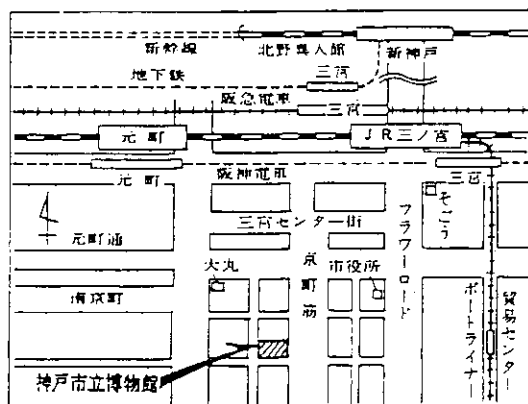
山村亜希(京都大・文・院)

<題目未定、対象絵図は長門国忌宮神社絵図>

15:30～

小田匡保(駒沢大学)

「管見の大和国絵図について」



問い合わせ先：藤田裕嗣(神戸大学・文) TEL078-803-5533ダイヤルイン

FAX078-803-5589(事務室)

## 編集後記：

●原稿は、慢性的に不足しています。少しでも地域の情報があれば、お知らせ下さい。

♣仕事の忙しさと暑さにめげて名簿を作成できませんでした。申し訳ありません。2000年度の名簿は、次回のニュースでお届けします。

♠次回の例会は、比較的便利な西宮です。多くの皆様の参加を心よりお待ち申し上げます。

編集担当 宇治市折居台1-1 宇治市歴史資料館 磯永和貴 TEL0774-20-1311 FAX21-6800